

## 「特定健診・特定保健指導」

## 北九州モデルの特徴（要点）

【個別医療機関（かかりつけ医）をベースにすることで特定健診、特定保健指導が一体的である】

- ① 受診機関が数多くあり、身近な医療機関で自分にあった時間に受診でき、受診率向上につながる。
- ② かかりつけ医が、生活習慣病予防のため特定健診受診勧奨を行い、受診率向上につながる。
- ③ 保健指導も継続的に行われ、その結果、健康管理が継続的に行われ、生活習慣の改善につながる。
- ④ 医療との連続性が保障され、疾病の早期発見・早期治療となり、医療費適正化につながる。
- ⑤ 他の検診との総合的な実施が可能である。

市民；北九州市国市国民健康保険加入者 40歳～74歳

個別方式

集団方式

## 特定健診受診

【医療機関（市内 515 機関）】

健診受診（各医療機関で実施）

【集団健診機関(4 施設)】

健診受診（市民センター・区役所等 304 箇所で開催）

健診終了後

【検体検査機関】

① 検体検査②データ入力③階層化(情報提供、動機づけ支援、積極的支援)

## 結果返し・特定保健指導

(結果返しは 2 週間以内)

【医療機関】

- ① 「情報提供」対象者  
検査結果の説明、生活習慣病予防の説明
- ② 「要治療」対象者  
検査結果説明、医療機関受診勧奨
- ③ 「動機づけ支援」、「積極的支援」対象者  
検査結果の説明、生活習慣改善の必要性の説明、保健指導及び保健指導日時予約  
(夜間、土日等、対象者の利便性を考慮)

【集団健診機関】

- ① 「情報提供」対象者  
検査結果の説明、生活習慣病予防の説明
- ② 「要治療」対象者  
検査結果説明、治療開始又は専門医紹介
- ③ 「動機づけ支援」、「積極的支援」対象者  
検査結果の説明、生活習慣改善の必要性の説明、保健指導及び保健指導日時予約  
(夜間、土日等、対象者の利便性を考慮)

## 評価

【医療機関】

③については 6 ヶ月後評価

【集団健診機関(4 施設)】

③については 6 ヶ月後評価

医師会との委託契約により実施

◆北九州市は精度管理と事業評価及びデータ管理とデータ分析。また、特定保健指導対象者以外への保健指導を実施（慢性腎臓病対策等）。